



# 中央社保協 News

「いのち・暮らしまもれ—安全・安心の医療・介護を」大運動推進中

2014年10月27日

<発行>

中央社会保障推進協議会

TEL 03-5808-5344

第14-09号

## いのちまもれ！憲法いかそう！ 10・23国民集会

# 安全・安心の医療、介護を

東京 日比谷 **医療・介護・福祉・患者団体など3200人**

国会へ  
請願デモ

「いのちまもる・憲法いかす10.23国民集会」が10月23日、東京・日比谷野外音楽堂で開かれ、全国から3200人が参加しました。集会後は、国会に向けて請願デモを行ないました。集会呼びかけ人3氏の発言要旨を紹介します。

### ☆伊藤真美さん（花の谷クリニック院長）

いのちが軽んじられている政治のもと、緩和医療に携わる者として声をあげる責任が私にはあると考えています。お金よりも大切ないのちを守ろう、きょうは、このことを一層声を大にして国民によびかけたいと思います。

### ☆川島みどりさん（日赤看護大学客員教授）

心身の不具合や病気は、誰の身にもいつ起きるか分かりません。また「老い」は、待っていても誰にも必ずやってきます。誰もが人間らしく、自分らしく生き暮らして行く権利は、憲法25条で保障されている国民の基本的権利です。この権利が、安倍内閣によって次々と切り崩されようとしています。憲法を守らない政府に抗議の声をあげましょう。平和な社会と暮らしを守るために、政府の不当性を多くの方に知らせ、ともに声をあげ手をつなぎましょう。

### ☆本田宏さん（済生会栗橋病院 院長補佐）

アチラ（政府・厚労省）の方には“霞”がかかって（会場笑い）患者さんや現場実態が見えないのだと思います。昨年、キューバに行き来しました。アメリカの干渉と戦いながら医療、教育、福



小雨降るなか横断幕を手に白衣で参加する大阪自治労連のみなさん



集会実行委員会作製の「いのちまもる・憲法いかす」と赤抜きしたタオルを会場向かい側の厚労省庁舎に掲げてコールする参加者

祉の無償化を進めています。日本は（基地予算など）アメリカに多くを貢ぎ、医療・福祉は先進国中で最低、個人負担は最高です。キューバと正反対。これからは「いのちを守る運動」のために情報を“ガンガン”発信（会場拍手）して行きたいと思います。みなさんのフォローをお願いします。